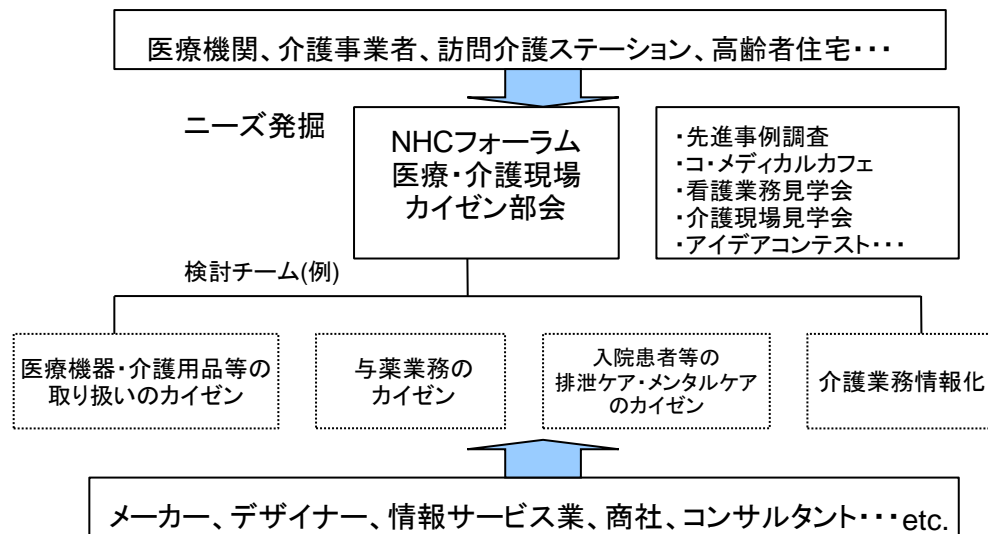


# 第1回 医療・介護現場カイゼン部会レポート

医療・介護現場カイゼン部会として初の部会を開催しました。  
お試し参加の方も含め、顔合わせを兼ねて簡単な自己紹介から始まり、  
今後の部会の進め方や、現場の課題をいかに発掘していくかなどに  
ついて、自由な議論が活発に交わされました。

2013年2月28日(木) 14:00~17:00  
名古屋大学大幸キャンパス(本館第2講義室)  
参加者:31名  
<部会長:名古屋大学 榊原久孝>

## 【1.医療・介護現場カイゼンの仕組みづくり】



## 【2.課題発掘に関するすすめ方の例 紹介】

### 「大同病院 見学会」報告レポート

- 「これ(ここ)を見て欲しい」という病院看護部からの設定  
→全体の流れのなかでのカイゼンのタネを見つける。

### 中部科学技術センター

#### 「健康になる住まいと住まい方コンテスト」

- ・企業とのアイデアマッチング
- ・基本的にweb上での展開というスタイル。  
→カイゼンというテーマにも応用できるのでは。

## 【3.意見交換】

部会の方向性、要望、提案などについて、参加者から積極的な意見が相次ぎました。

### 参加者からのご意見(抜粋)

- ・手術室での業務改善の経験紹介
- ・システムシミュレーションによる院内の生産管理研究の紹介
- ・ハートセンター見学の可能性
- ・医療よりも介護の現場に出向いたほうがよいのでは？
- ・医療機器医薬品の治験業務を通じた介護具体例  
「大府市薬草園」
- ・薬草からサプリメントをつくり製品化した事例紹介
- ・介護事業所の中での簡単な作業事例「しいたけ栽培」
- ・医療と福祉をどう分けて情報収集するのか？
- ・医療現場をみても意味がないのではないかな？
- ・医療業界と工業界では言葉が通じない。
- ・大学のニーズを聞いてつくっても売れるかが問題。工業界と医療界のコーディネートが必要？ オーディション形式にしてはどうか？
- ・先生の学会での立場で売れるかどうかが決まる。
- ・我々の知らない課題を勉強させてほしい。
- ・現場のニーズを明らかにしていく。経験からアイデア提案

↓  
今後の方向性 (1)ニーズからひろって問題解決  
(2)望む社会を思い描き問題を開発していく

↓  
今後、グループ分けの可能性。ニーズを吸い上げる必要性大。